

日本エアテック 社内報



2022年 秋号

発行：日本エアテック 企画管理部



日本エアテック社内報



2022年
秋号

【発行】
日本エアテック
企画管理部

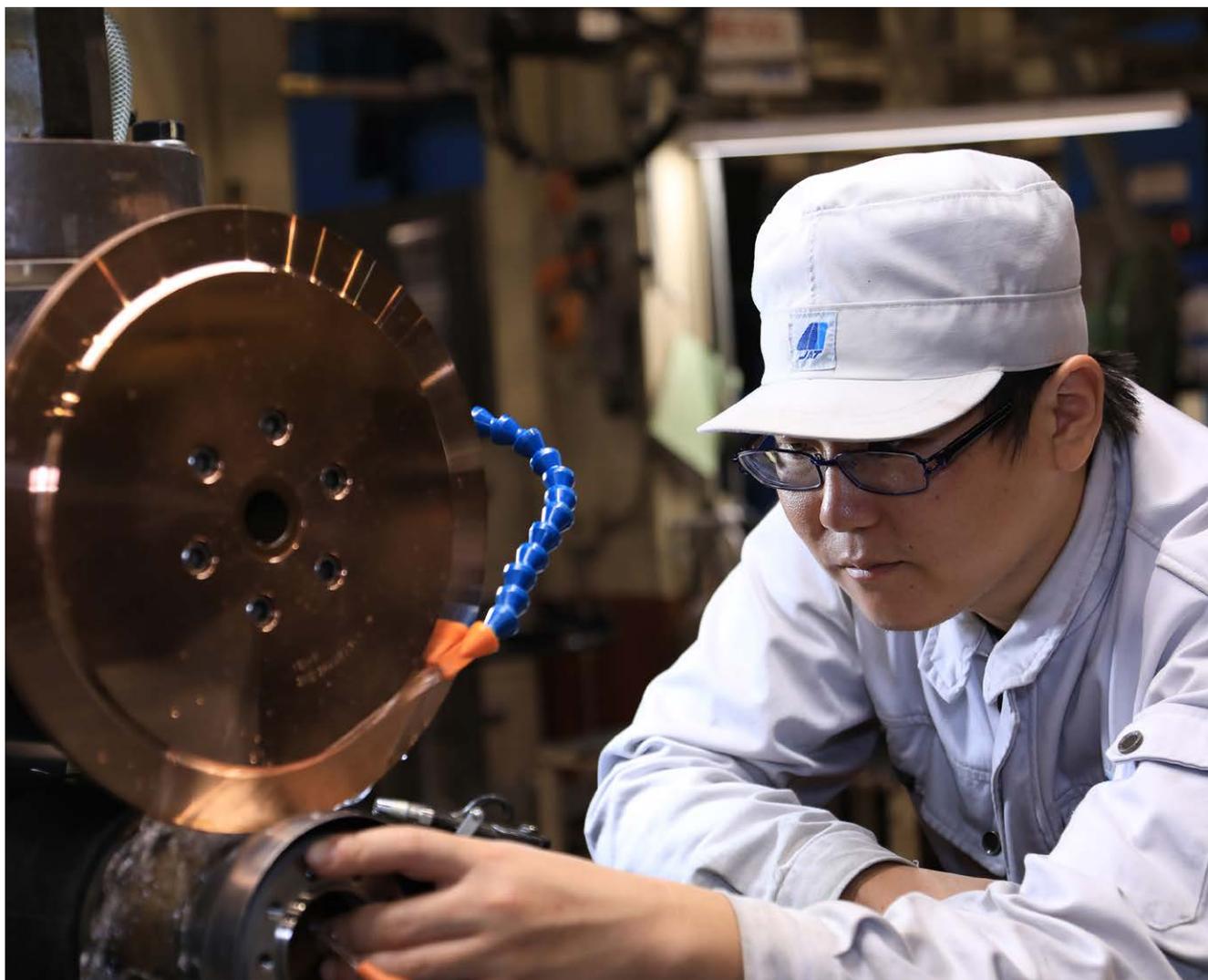
特殊工程特集

〈NADCAP受審〉

先頃、当社はNADCAP（国際特殊工程認証システム）の二工程である溶接工程の更新監査を受審しました。NADCAPは、航空機部品製造の特殊工程施工に要求される認証であり、自動車や建築分野におけるそれとは比較にならない程、厳しく詳細な工程管理が要求されます。また、監査は書類監査のみではなく、実技監査もあ

である監査員から、現場作業についても厳しい指摘を受けることもあります。そのため、認証の取得には、現場の高い技術力が不可欠です。

さらに工程管理上で不適合がもしあった場合、当社顧客だけではなく、その先にあるエンジンメーカーや機体の製造メーカー、さらにエンドユーザーであるエアライン等、世界中の皆さんにも多



大な影響を与える事もあるため、工程品質を常に高いレベルで維持する必要があります。

当社の溶接工程は、民間航空機向けの厳しい認証監査と部品製造を10年以上に亘って続けており、代表的な例として、ビジネスジェット機や旅客機に搭載されるHoneywell社のAPU（補助動力装置）の部品製造に寄与しています。

ちなみに当社のNADCAP認証は、溶接工程だけではなく、非破壊検査、溶射工程の認証も

取得済みであり、複数の工程に対して認証を取得しているメーカーは日本国内でも少数だからこそ、多岐に亘る特殊工程を社内で一貫して生産できるといふ強みが私たちにはあります。

今後、工程の維持管理はもちろん、更に技術力を向上させ、航空宇宙製品の特許工程製造に携わる企業として、総員の力を結集してより多くのお客様からの信頼獲得につなげていきたいと思います。

（文責 有吉 準）

〈接着工程増強〉

新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な旅客需要の減少に伴い、当社は2020年初旬より航空民需製品生産に大きく影響を受ける事となりました。

現在も感染が長引き、製造業など幅広い業種で厳しい生産体制となる中、当社が部品製造に携わるPW1100GJMエンジンは段階的な増産が計画されています。

PW1100GJMは、エアバスA320neoファミリーに搭載するエンジンで、PWと日本航空機エンジン協会(JAEC)、独MTUエアロエンジンズが設立した合弁会社(AE)インターナショナル・エアロ・エンジンズが主体となり、2011年から開発を開始。JAECが全体の23%を担当しています。

この増産は国内線回復による航空機機体需要に伴うもので、顧客からは当社に対して高い期待と関心が寄せられています。

その中で当社は、PW1100GJMエンジン部品の一部となる接着組立製品の生産を担うJAT神戸工場3F接着職場のクリーンルームで従事される皆さんの安全衛生と増産への備えとして、調査・構想・設計を経て、改修・拡張工事を2022年4月より着手し、先頃2022年8月に無事完成に至りました。

工事の取り纏めは職場責任者のJAT生産二係瓦林係長、生産技術部接着工程主幹角田主任、工事責任者の松村を中心に臨みました。設計・構想においては知見ある諸先輩方にお力を拝借し、使用者目線でアイデアを集約してより安全で効率的に付加価値の高いモノづくりを可能とする職場を目指しました。

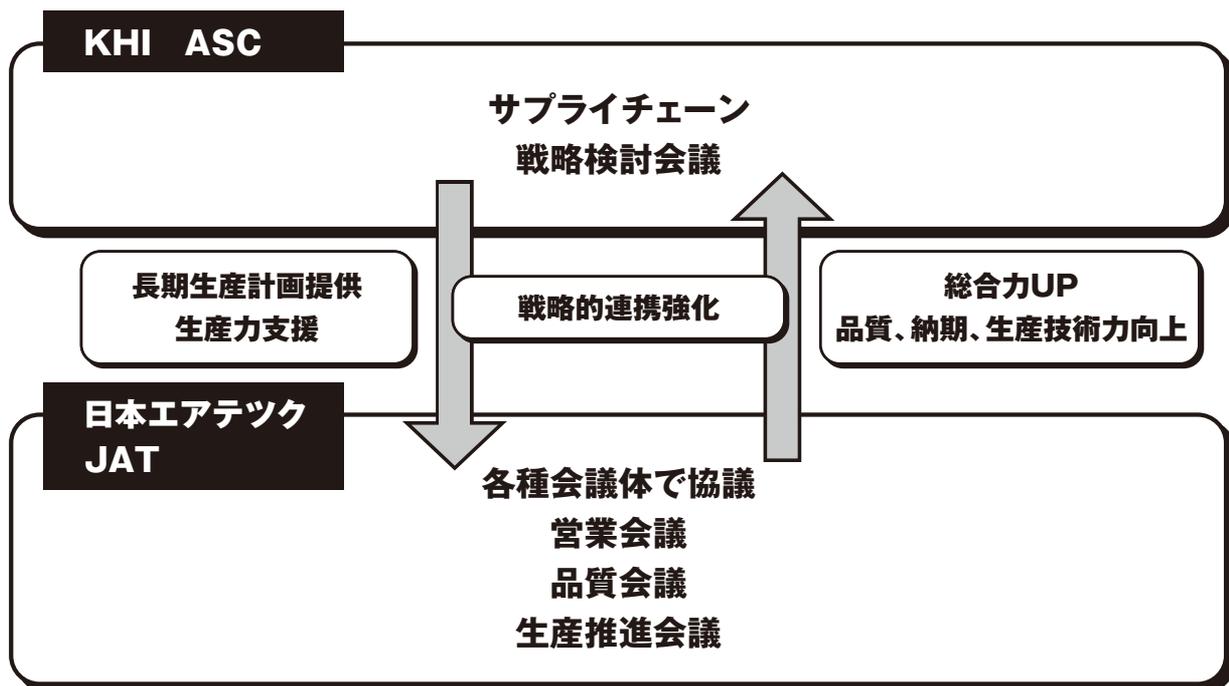
工事を進捗させるには消防署、労働基準監督署等への各種申請が必要となり、工事業者殿と綿密な確認と調整の上、コンプライアンスに則って慎重に手続きを進めました。また、工事日程においては顧客と複数回調整を行い、コミットした後に工事部品の調達がコロナウイルスとロシア・ウクライナ情勢の影響で予定通り運ばず、顧客と再び調整を要するトラブルもありました。その中においても支え続けて頂いたJAT神戸本社工場従業員の皆様へは心より感謝申し上げます。

様々な状況の中、新しいクリーンルームが完成し、今後においては生産基盤の強化、さらには顧客とのより強固なサプライチェーンの構築が期待されます。以後もフロントランナーとして走り続ける接着職場の存在意義が永続するものと信じております。

これからも各種プロジェクトへの能動的な取り組みを通して、顧客からの信頼、社業の発展、延いては社会貢献に寄与出来る様努めて参りたいと考えております。

(文責 松村 直也)

TOPICS 戦略パートナー協定を締結しました!!



当社(日本エアテック、JAT)は、2022年5月に最大顧客である川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー(以下ASCと称す)のサプライチェーン管理委員会にて戦略パートナーに認定され、9月に戦略パートナー協定書を締結致しました。

ASC様は、新型コロナウイルスの影響があるものの、2040年ビジョンで民間航空エンジン事業は今後も拡大基調が続くビジネスとして位置づけられており、今後の生産拡大のためにも、今まで以上にサプライヤーとの協調戦略が必要と見込んでいます。

当社は現在までASC様の協力会社として、ASC様の製品の加工を行ってまいりましたが、この度は、多数の協力会社の中でも重要とされる協力会社が数社選ばれ、当社はそのうちの1社として戦略パートナーに認定されました。

戦略パートナーに認定されたことにより、長期の顧客生産情報、今後の当社投資戦略、顧客と当社の懸念事項の共有と解決策の検討などの、生産に対するお互いの方向性の一致と認識の深化により、当社の長期成長戦略を顧客と一体となって策定することによって、今まで以上に顧客の業容拡大が当社の業容拡大へと密接に繋がっていくこととなります。

一方、こちらから今まで以上に総合力が顧客から求められます。具体的には、生産性の向上、安定生産、品質の確保、生産技術力の向上、経営基盤強化等々です。

具体的な活動内容につきましては、今後詰めてまいります。まずは、現在ASC様より求められている、品質の確保、納期遵守に向けた活動を今後も続け、今まで以上にASC様の信頼を得る事が重要となりますので、全社総員のご協力をお願いします。